

次世代内航船（スーパーエコシップ）の研究開発 （平成13～17年度）

〔背景〕

内航海運業に対する一層の効率化要請
地球環境問題の深刻化等

次世代内航船推進システム

スーパーマリンガスタービン^(注) + 電気推進システム

環境負荷低減 (NO_x 1/10, SO_x 2/5, CO₂ 3/4) 騒音 1/100 船上メンテナンスフリー

二重反転ポッドプロペラ

真横移動も可能



理想の船型

燃料消費量約10%向上

貨物スペースの増大

積載量約20%増大

(注) 従来型のガスタービンと比べ燃料消費量約30%削減

内航輸送コストの削減
(モーダルシフトの進展)
船員の居住・労働環境の改善



内航海運の活性化
物流における環境負荷低減

開発スケジュール

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
新船型		市場調査・基本設計	船型開発	建造	実証試験
ポッド		要素技術開発	実寸モデル製作・試験	次世代内航推進システム実証機設計・製造	
SMGT		(研究開発)	(耐久試験)		